

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



井上小学校 4年松組 高木 千楓さんのコメント

【あくたれラルフ】

作：ジャック・ガントス（童話館）

ラルフはいつもやっていることをめっちゃくちゃして、でもセイラというかいぬしはラルフはいたずらばかりしているけどすごいと思いました。あるひサーカスにいった家族はラルフがサーカスをめっちゃくちゃにしておこっっておいていってかわいそうだなと思いました。おいていかれたラルフは、はんせいをしていてすごいなと思いました。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



【魔法のハロウィンパイ】

作：野中柊（理論社）

きら星亭というパンダのポンポンのレストランで動物たちがハロウィン・パーティーをするお話です。読んでみると動物たちの楽しい様子が想ぞうできます。わたしもパンプキンパイを食べてみたくなりました。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



小山小学校 4年東組 中村まさとしさんのコメント

【かげろうかーくん】

作：なかむら みつる（幻冬舎）

この本はかげろうかーくんとキャンディというなまえの女の子のお話です。キャンディはあるなやみをかかえていました。毎日毎日御家の近くにある小さな池に話に行っていました。じつは、そんなキャンディをいつもいけの中から見つめている小さなかげがありました。続きはぜひ読んでみてください。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



小山小学校 4年東組 宮下 歩花さんのコメント

【「おめでとう」をいっぱい】

作：宮川 ひろ（PHP 研究所）

やすよのたんになのあい子先生という先生が病気でにゅういんしゅじゅつをして、やすよのおばあちゃんがやすよに「あい子先生のしゅじゅつがうまうまいきますようにって、いのりながらつるをおるんだよ。」と言って、やすよのクラスのみんなもつるのおりがみをおったらほんとうに病気がなおったところがすごかった。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



【きょうから飛べるよ】

作：小手鞠 るい（岩崎書店）

とても楽しみにしていた新学期を前にして、さくらはひどい熱を出してしまい、びょういんに入院してしまいました。なかなかびょうきがなおらないさくらに、ある日一枚の紙きれがとどきます。いったいだれが書いたのかな？なんのために？勇気と希望の物語。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



小山小学校 4年東組 佐々木 渚さんのコメント

【かあちゃん取扱説明書】

作：いとう みく（童心社）

「てつや」という主人公の母さんは、朝からガミガミとおっかないのです。そんな、ガミガミとおこられるてつやは、かあちゃんの手扱説明書を書くことになったのです。てつやは、No.1「食べたいごはんを作ってもらふ方法」など、こんなふうを考えていくのです。さい後に !けい告!危けん物につき取扱注意!!

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



小山小学校 4年東組 涌井 心大さんのコメント

【ごめんねともだち】

作：内田 麟太郎（偕成社）

この本はおおかみときつねがとてもなかよしでいっぱいあそんでいる本です。でも、きつねとおおかみがけんかしてしまう、でもまたさいごはなかよくなる本です。この本をみつけた人はぜひみてください。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



高甫小学校 4年敬組 小山 和春さんのコメント

【衣世梨の魔法帳】

作：那須 正幹（ポプラ社）

ある日、いよりの男の友だちこうへいたちが、みぞにはいいうで、ぜんしんどろまみれの犬を見つけた。友だちのこうへいは、ほけん所につれていくと言った。でも、いよりは、自分たちでかうといった。そこからいろんなじけんをといていく、いよりのお話です。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



高甫小学校 4年敬組 小山 楓姫さんのコメント

【トキメキ 図書館 PART6】

作：服部 千春（講談社）

女の子の小夜さんが魂だけになってしまって、なにも物をさわれないけど、その大切な人からの手紙だけは受け取れたところがとても感動しました。あと、修学旅行の行く場所決めて亮介と奈津と雅の3人でケンカをされていて萌と宙は2人でイチゴのケーキを食べているところがおもしろかったです。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



高甫小学校 4年敬組 小林 陽南さんのコメント

【獣の奏者(2)】

作：上橋 菜穂子（講談社）

この本は、エリンと言う小さな女の子が主やくのお話です。このお話は、エリンのお母さんは、とうだの医術師でした。エリンはお母さんみたいになりたかったのだと思いたしたところがわたしは、大好きです。おもしろいので、みなさん読んでみてください。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



高甫小学校 4年敬組 内田 柑那さんのコメント

【オズのまほうつかい】

作：ライマン・フランク ボーム（学研教育出版）

とつぜんのだつまきで、家ごととばされてしまったドロシーとトト。とばされてついたところは「オズ」の国でした。そしていろいろな人たちにあってぼうけんをするドロシーとトトたちのことがかいてあってとてもドキドキワクワクするお話です。ぜひよんでみてください！！

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



高甫小学校 4年敬組 市川 惺大さんのコメント

【たまねぎ博士】

作：矢玉 四郎（岩崎書店）

たまねぎはか士は、色々なロボットなどを作るすごい人です。でもたまにスイッチの入れっぱなしやきかいなどがこわれてじこがおきます。けどなんとかがいけつするところなどがおもしろいのでぜひ読んでみてください。